

研究区分	学部研究推進
------	--------

研 究 テーマ	ムセイオン静岡を通じた地域一体型教養教育と人材育成				
研究組織	代 表 者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	鈴木 さやか
	研究協力者	所属・職名	国際関係学部・副学長	氏名	富沢 壽勇
		所属・職名	国際関係学部・名誉教授	氏名	立田 洋司
		所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	細川 光洋
		所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	森 直香
		所属・職名	国際関係学部・准教授	氏名	米山 優子
		所属・職名	短期大学部こども学科 ・准教授	氏名	山本 学
	発 表 者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	鈴木 さやか

講演題目
ムセイオン静岡を通じた地域一体型教養教育と人材育成
研究の目的、成果及び今後の展望
本研究は、7つの文化教育機関（本学、県立美術館、県立中央図書館、県埋蔵文化財センター、舞台芸術センター〈SPAC〉、グランシップ、ふじのくに地球環境史ミュージアム）の連携組織「ムセイオン静岡」を基盤に、地域社会とも協働しながら、本学の教養教育を実験的に展開し、「生きた教養教育」の在り方を追究・実践することを主目的としている。具体的には、全学共通科目「舞台芸術」「MUSEUMと文化」「世界の文化遺産」等を通じ、ムセイオン関連機関と本学との人的交流を深めるとともに、地域社会における本学の文化教育活動の触媒的機能を高め、学生には諸機関を通じて生きた教養を体得する機会を提供し、こうした基盤形成による人材育成を目指している。また、本学を中心としてムセイオン静岡関連諸機関の横断的なネットワーク形成を進めるとともに、地域社会が有する文化資源や社会資本を教養教育に最大限活用するモデルの構築も重要な使命となっている。 本プロジェクトによる交流事業として、今年度も「舞台芸術」において、静岡出身の国際的フルーティスト・古川はるな氏を講師として2度招聘し、東西の音楽史と人類との関わりについて講義と実演を行った。また、研究代表者の鈴木は、静岡県立中央図書館との連携事業として「世界児童画展」を開催し、オープニングイベントとして岡山大学教授・藤田雅也氏によるギャラリートークを実施した。研究分担者の細川は、静岡市出身・在住の若手小説家として注目される実石沙枝子氏を講師に迎え、「〈書く〉視点で楽しむ物語」を開催するとともに、作家や地域文学館と協働し、地域文学資源を活用する「しずぶんプロジェクト」を継続・展開した。米山は青山学院大学教授・佐藤亨氏を招き、特別講義「北アイルランドを知るーアイルランドの中の英国、英国の中のアイルランド」を実施した。さらに、恒例となったこどもプロジェクトでは、山本による「けんたんこどもの歌音楽会」を今年度も予定通り開催し、地域の親子や本学学生に異世代交流・異文化体験の機会を提供した。加えて、富沢は静岡県立美術館協議会委員として同館との意見交換・情報交換を重ね、本学とのさらなる連携強化に向けた構想や提案を行った。これまでムセイオン事業で培ってきた人脈と経験知は本学全体に着実に浸透しつつあり、今後は「MUSEUMと文化」を県内文化施設職員によるオムニバス形式へ刷新することで、文化施設間の連携をさらに強化していく予定である。このような一連の文化プロジェクトを通じ、地域社会と連携した教養教育モデルによる人材育成の定着と裾野の拡大を図っていきたい。